

18東海

全国高校総体

全国高校総体は3日、三重県などで14競技を行った。陸上は女子走り高跳びの大滝佐和(浜松西)が1.875の自己新記録で優勝し、陸上の本巣出場選手では今大会初のメダルとなった。男子100は中村彰太(浜松工)が10秒65で4位。走り幅跳びは築地由貴(磐田西)が7.45を跳んで7位に入賞した。相撲団体は飛龍と富士宮北がともに1回戦を勝ち抜き、2回戦へ進んだ。弓道団体は男子の静岡東、女子の島田商と静岡が予選を通過し、決勝トーナメント進出した。バスケットボールは男子の飛龍と女子の浜松開誠館が3回戦進出。ソフトボール女子の飛龍は初戦を突破した。テニス男子団体の浜松工は3回戦で敗退した。ボクシングはバントム級の大畑俊平(飛龍)が3回戦に駒を進めた。

